



第125回 中村屋健康保険組合 組合会

令和3年 7月19日（月）

14：00～15：00

6階会議室 1・2

中村屋健康保険組合



第 1 2 5 回 中村屋健康保険組合 組合会 議題

報 告 事 項

第 1 号報告 令和 2 年度 健康保険組合監査報告に関する件

第 2 号報告 収支予算の同一款内流用に関する件

審 議 事 項

第 1 号議案 令和 2 年度健康保険・介護保険収入支出決議（案）
に関する件

第 2 号議案 令和 2 年度 決算残金処分（案）に関する件



報告事項

第1号報告 令和2年度健康保険組合監査報告に関する件

令和2年度の『収支支出決算概要表』『令和2年度事業報告書』の内容について事務長より説明があり、その後、会計帳簿・財産残高確認・収入支出に係る伝票・信憑書類・各種資料の管理状況等を確認し検証を行いました。特別に問題となる箇所はなく、適正に処理されていたので、ご報告いたします。

監事 大網 克美

監査日時 : 令和3年7月15日(木)

監査会場 : 東京事業所 事務3号棟 健保組合会議室

報 告 事 項

第 2 号報告 収支予算の同一款内流用に関する件

* 1 月分まで組合会報告済

納付金	前期高齢者納付金	前期高齢者納付金	(206,202円)	←	予備費(2,031,203円)
	後期高齢者支援金	後期高齢者支援金	(1,825,001円)		

事務所費	需用費	雑役務費	(80,932円)	←	役職員俸給 (80,932円)
------	-----	------	-----------	---	-----------------

保険給付費	法定給付費	傷病手当金など	(3,077,193円)	←	家族療養費など (5,476,288円)
		高齢者高額療養給付費など	(2,131,095円)		
		薬剤支給	(268,000円)		
	付加給付費	傷病手当金付加金	(740,215円)	←	家族療養費など (1,273,215円)
		家族療養付加金 など	(533,000円)		

※ 予算の配分の問題であり、収支に大きな影響を与えるものではありません。



審 議 事 項

第 1 号議案 令和 2 年度健康保険・介護保険収入支出決議（案） に関する件

健 康 保 険

- ☐ 令和2年度は、6年連続で経常収支が黒字となった。
- ☐ 収入は、被保険者の減少に伴い保険料収入が減収となった。
- ☐ 支出は、コロナ禍による受診控えが影響し医療費が
対前年で21,336千円減少し収支に好影響を及ぼした。
- ☐ 収入支出差引額32,514千円を決算残金処分とすることができた。

令和2年度 健康保険収入支出実績

(単位: 千円)

		2019年度決算	2020年度予算	2020年度決算	2020年度決算比較	
					対前年度決算	対当年度予算
保険料率 (%)		93.00 (一般91.70)	93.06 (一般91.70)	93.06 (一般91.70)	0	0
被保険者数 (人)		1,426	1,404	1,352	-74	-52
標準報酬月額 (円)		313,469	316,561	312,310	-1,159	-4,251
経常 収 支	収 一般保険料	582,029	572,664	554,538	-27,491	-18,126
	入 雑収入・利子・回収金・補助金・その他	8,848	7,657	7,156	-1,692	-501
	経常収入計 (A)	590,877	580,321	561,694	-29,183	-18,627
	支 事務所費	14,978	27,574	18,237	3,259	-9,337
	出 保険給付費 (医療費)	295,781	316,662	274,445	-21,336	-42,217
	納付金	213,100	190,830	192,862	-20,238	2,032
	保健事業費	47,620	53,295	43,170	-4,450	-10,125
	還付金・連合会費・雑支出	767	890	466	-301	-424
	経常支出計 (B)	572,246	589,251	529,180	-43,066	-60,071
	経常収入支出 差引額 (A) - (B)	18,631	-8,930	32,514	13,883	41,444
経常 外 収 支	収 調整保険料	8,298	8,539	8,247	-51	-292
	入 繰越金	51,582	52,607	52,607	1,025	0
	繰入金 (別途積立金・準備金限度外部分繰入)	0	30,000	0	0	-30,000
	その他収入	3,103	4,003	3,798	695	-205
	経常外収入計 (C)	62,983	95,149	64,652	1,669	-30,497
	支 財調拠出金	8,261	8,531	8,206	-55	-325
	出 介護勘定繰入他	0	3,500	0	0	-3,500
	その他	4	232	1	-3	-231
	予備費	0	73,956	0	0	-73,956
	経常外支出計 (D)	8,265	86,219	8,207	-58	-78,012
	経常外収入支出 差引額 (C) - (D)	54,718	8,930	56,445	1,727	47,515
収入合計 (経常 + 経常外)		653,860	675,470	626,346	-27,514	-49,124
支出合計 (経常 + 経常外)		580,511	675,470	537,387	-43,124	-138,083
収入支出差引額 (予備費を除く)		73,349	0	88,959	15,610	88,959
財 産	法定準備金残高	256,099	270,249	305,019	48,920	34,770
	別途積立金残高	134,691	133,980	134,691	0	711
	1人当たり別途積立金	94	95	100	5	0



審 議 事 項

介 護 保 険

- ☐ 令和2年度は、対前年の保険料収入が減少したが、介護納付金を上回り黒字となった。
- ☐ 準備金に余裕はあるが、保険料収入は年々減少傾向にあるため、保険料率の推移は見守りたい。
- ☐ 収入支出差引額3,982千円を決算残金処分とすることができた。

令和2年度 介護保険収入支出実績

(単位：千円)

	2019年度決算	2020年度予算	2020年度決算	令和元年度決算比較	
				対前年度決算	対当年度予算
保険料率 (%)	17.5	17.5	17.5	0	0
被保険者数 (人)	880	877	855	-25	-22
標準報酬月額 (円)	340,984	345,032	339,935	-1,049	-5,097

収入 支出 状況	収入	保険料収入	77,667	78,591	75,254	-2,413	-3,337
		国庫負担	0	0	0	0	0
		利子・回収金・その他	2	3	3	1	0
		繰越金	0	0	0	0	0
		繰入金	1,200	2,000	0	-1,200	-2,000
		一般勘定受入	0	3,500	0	0	-3,500
		国庫補助金受入	990	1	0	-990	-1
	計		79,859	84,095	75,257	-4,602	-8,838
	支出	介護納付金	77,264	71,273	71,259	-6,005	-14
		介護保険料還付金	22	30	16	-6	-14
		準備金繰入	0	6,020	0	0	-6,020
		一般勘定繰入	0	3,500	0	0	-3,500
		予備費	0	3,272	0	0	-3,272
	計		77,286	84,095	71,275	-6,011	-12,820
	収支差引計		5,141	0	3,982	-1,159	3,982

決算 残	準備金	2,573	0	3,982	1,409	3,982
	繰越金	0	0	0	0	0
	計	2,573	0	3,982	1,409	3,982

準備金(累計保有額)	26,837	28,304	30,819	3,982	2,515
------------	--------	--------	--------	-------	-------

審 議 事 項

第2号議案 令和2年度 決算残金処分（案）に関する件

【健康保険】

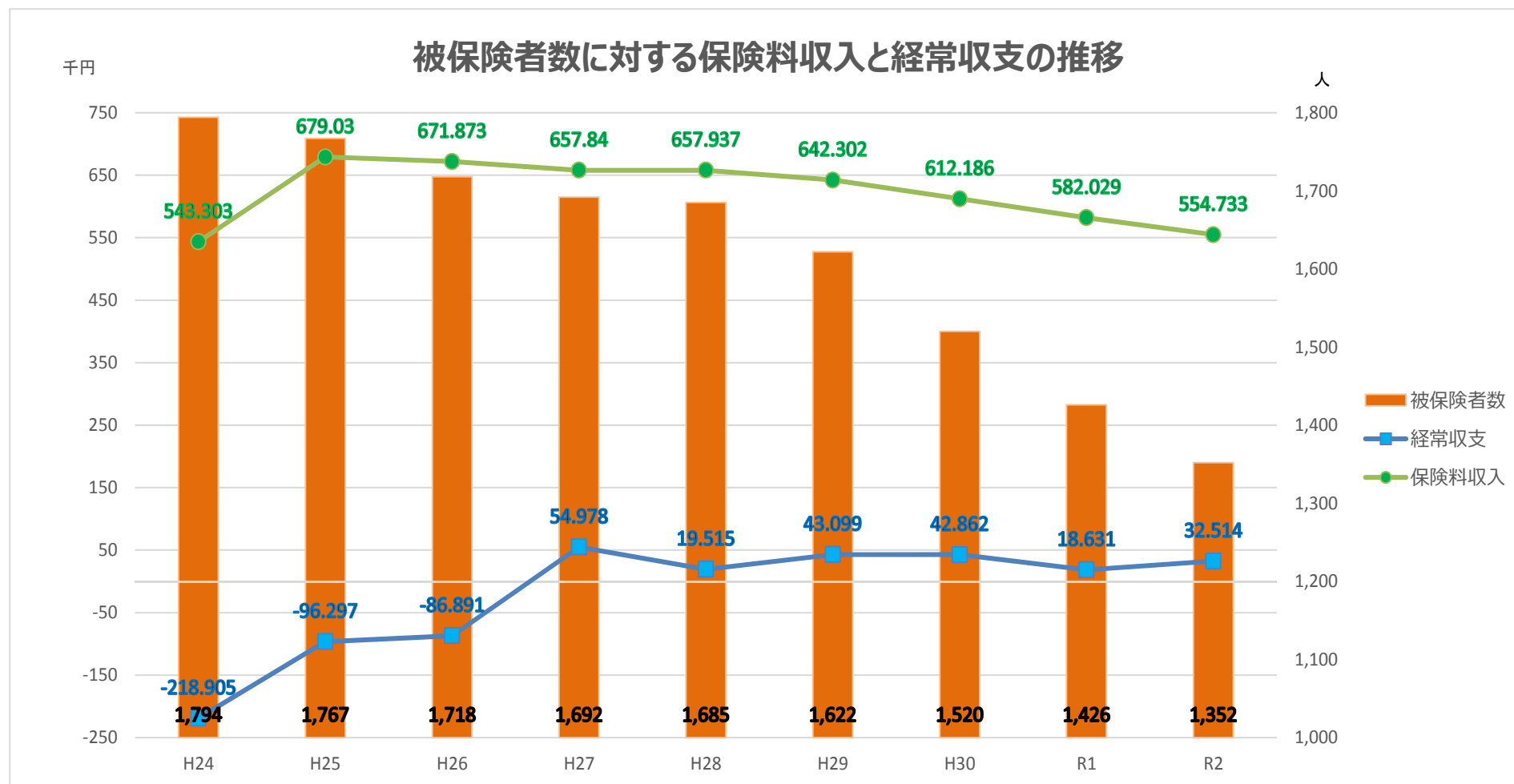
単位:円

決 算 状 況		決 算 処 分 内 容	
収入決算額	626,345,842	準 備 金	48,919,821
支出決算額	537,386,709	別 途 積 立 金	0
差 引 残 額	88,959,133	翌 年 度 繰 越 金	40,000,000
		※ 財 政 調 整 事 業 繰 越 金	39,312

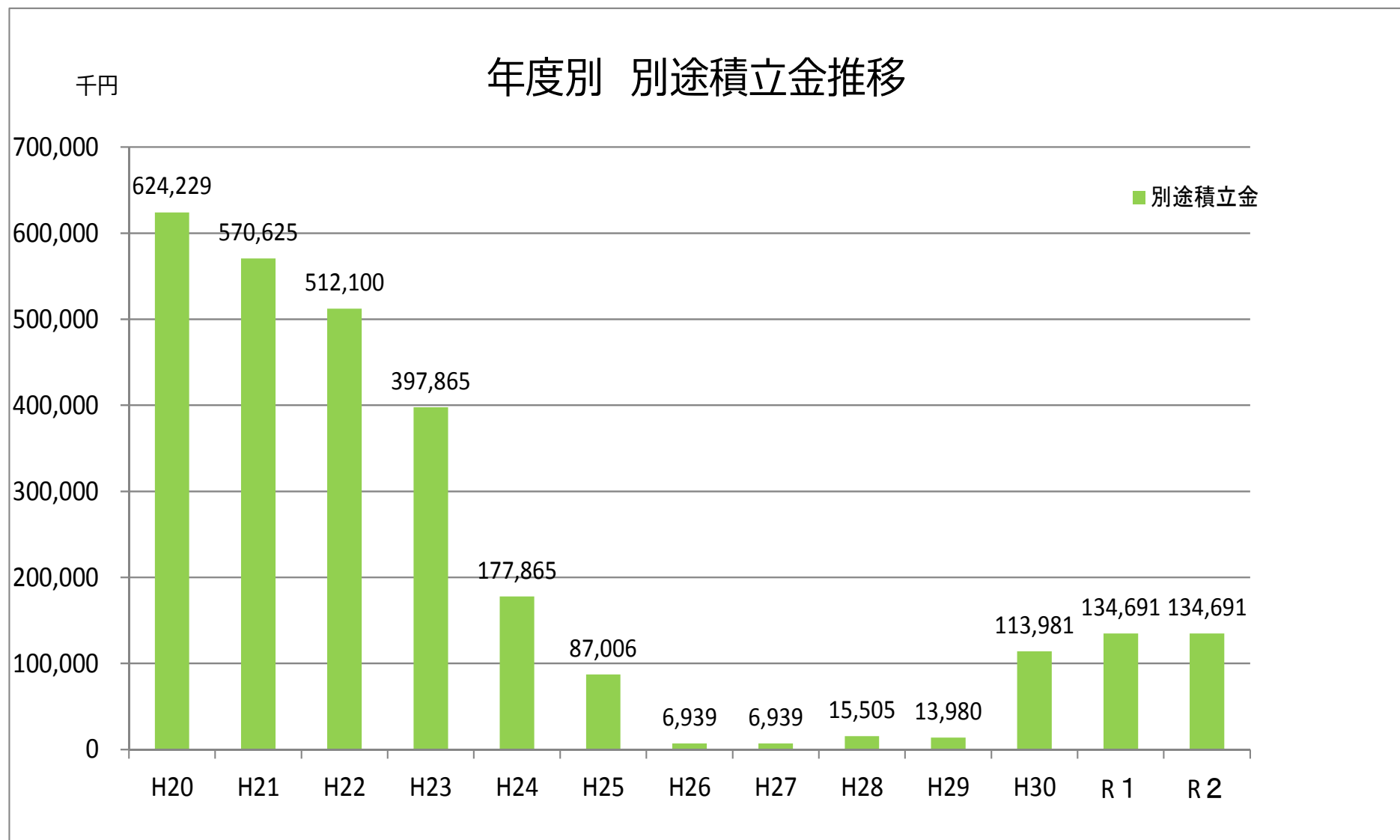
※任意継続被保険者3月納入前納保険料

【介護保険】

決 算 状 況		決 算 処 分 内 容	
収入決算額	75,256,579	準 備 金	3,982,043
支出決算額	71,274,536	繰 越 金	0
差 引 残 額	3,982,043		



※H25 料率変更実施(7.32⇒9.30)





【まとめ】

新型コロナのワクチン接種が徐々に始まっておりますが、接種の新規受付中止の混乱、東京オリンピックを前に第5波の懸念もあり、いまだ感染拡大に予断を許さない状況が続いています。

また本年度予算によると、全国77.9%の健康保険組合の経常収支が赤字であり、ついに実質保険料率が初めて10%の大台を越える見通しです。

当社健康保険組合の収益は黒字を確保したものの、コロナ禍での受診控えが影響した一時的なものと考えられ、加入者数の減少傾向は続き、受診控えによる精密検査や再検査の放置により病気が進行し、結果的に健康保険組合の収支に悪影響を及ぼし、継続的な事業推進が難しくなる懸念も考えられます。

こういった事態に備え、健康保険組合では、事業主とより協力的に健康課題に取り組むことが重要だと捉えております。

皆さんに健康に関心を持ってもらえるような健康事業に取り組んでまいりますので、ご理解・ご協力をお願いいたします。